

## あぶない腹痛

病院へ行くまでもなく治ってしまう腹痛はどなたにも経験があるものでしょう。しかし腹痛は身体があなたに異常を知らせる危険信号でもあります。なかなか治まらない腹痛には、素人判断では“あぶない腹痛”があり、なかには“急性腹症”とって原因を特定する時間的余裕もないまま緊急開腹手術が必要になることもあります。

### ■注意すべき腹痛の症状

腹痛が治まらない、繰り返す腹痛、発熱を伴う、吐気・嘔吐・下痢を伴うなど。

### ■受診時に知らせるポイント

以下のポイントをメモ等にまとめておくと診察がスムーズです。

- ①腹痛の状態：どこが痛むか、時間的な経過、持続性か間歇性か、食べ物との関係（生もの・刺身等の摂取歴、最終摂食時間）
- ②随伴症状：発熱、吐気・嘔吐、下痢等の有無、便通の状態
- ③腹部の病気の有無：開腹手術の既往、胃・十二指腸潰瘍、胆石症、腎・尿管結石、婦人科疾患、最終月経

- ④その他の持病の有無：糖尿病、高血圧、心臓病、アレルギーの有無など
- ⑤普段飲んでいるお薬

### ■診察の手順

病歴聴取、全身・局所の診察、血液・尿検査、胸腹部レントゲン検査、腹部超音波エコー検査、必要に応じて内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）、腹部CT検査、心電図検査等を行います。

医療局長(外科)

むらた ゆうひこ  
村田 裕彦

### ■入院治療が必要となる腹痛を来す主な疾患

急性胃腸炎、急性虫垂炎（いわゆる“盲腸炎”）、腸閉塞、腹膜炎（消化管穿孔、憩室炎等）、胆石症（急性胆嚢炎・胆管炎）、胃・十二指腸潰瘍、急性膵炎、胃・腸アニサキス症、腎・尿管結石、婦人科疾患、腸間膜動脈血栓症、腹部大動脈瘤など

治らない腹痛に我慢は禁物です。早めに病院を受診し適切な診察、検査を受け原因に応じた治療を開始することが大事です。

### 健康講座のご案内

- ◇日時 11月16日(木)  
午後1時30分～2時30分
- ◇会場 西伯病院1階  
地域交流ホール
- ◇内容 インフルエンザについて
- ◇講師 山本<sup>ひろゆき</sup>司生 先生  
(内科医長：呼吸器内科)

インフルエンザの流行する季節が近づいてきました。予防方法、治療方法、かかったときの注意事項などについてわかりやすく解説しますので皆さんご参加ください。



### 平成17年度病院事業会計の決算について

#### ■H17病院事業会計決算概要

(単位：千円)

病院事業収益	A	1,779,232
病院事業費用B		2,488,615
経常収支	A-B=C	△709,383
参 考	資産減耗費 ①	535,097
	減価償却費 ②	19,054
	改築事業等に伴う消費税 ③	153,864
	①+②+③=D	708,015
C+D		△1,368

南部町9月定例議会で平成17年度病院事業会計の決算が認定されました。単年度の経常収支は約7億9百万円の赤字となりましたが、その要因は、旧病院の取り壊しに伴う資産減耗費（約5億3千5百万円）など現金支出を伴わない経費や改築事業等に伴う消費税（約1億5千4百万円）であり、当初から予定されていたこととあります。これらを除いた実質的な収支は約137万円の赤字となりますが、手元資金（内部留保資金）がありますので、今後の病院運営に影響を与えるものではありませんのでご安心ください。

病院経営の安定は、何よりも地域の皆様にご利用いただくことにあります。引き続き、良質な医療を提供し、地域の皆様へ安心が提供できるように努力していきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。